

事務事業	726401	公共建築物等再編統合事業		
事業区分	実施計画事業	施策体系	726410 公共施設等の計画的な管理と統合・廃止	
区分	必要性	高い	効率性	普通
	方向性（第一次）	改善・効率化	改善、効率化の内容	改良戦略
対象	狭山市の公共建築物			

事務事業目的	今後、人口減少等により公共施設等の利用需要の変化が予想されることを踏まえ、公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現する。
事務事業内容	公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うとした「公共施設等総合管理計画」と「再編計画」を基に、公共施設の長寿命化と再編を推進する。
実施形態	
成果指標	公共施設の統廃合等による公共施設総量（延床面積）の削減率 令和元年度実績： 6.11%
活動指標	（活動指標1）公共施設等再編の取組み件数 （活動指標2）削減した公共施設等の延床面積 令和元年度実績： 活動指標1 7件 活動指標2 19,008㎡

事業コスト計算

事務事業費予算額	130,000 円	R1 事務分担表による「事務に係る人数」	2.73 人
事務事業費決算額	119,556 円	R2 事務分担表による「事務に係る人数」	2.73 人
予定値		確定値	
直接事業費	130,000 円	直接事業費	119,556 円
人件費	22,501,763 円	人件費	22,075,883 円
総額	22,631,763 円	総額	22,195,439 円

見直し実績	公共施設の老朽化問題に対して、職員の意識を高めるために外部講師を招聘して職員研修を実施した。	
事業評価	内部要因 外部要因	（ニーズ）サービスや機能を維持しながら、財政的に持続可能な施設運営を検討する必要性が高まっている。 （強み）メディアによる公共施設の老朽化問題に関する情報発信により関心を集めることができる
	必要性	現在の公共施設をすべて更新しながら維持していくことは財政的に不可能であることが、経費試算から明らかになっており、今後は、計画的な施設の統廃合と長寿命化を推進していく必要がある。
	効率性	公共施設の老朽化問題について、職員や市民・利用者に対して、様々な機会を捉えて周知活動を実施していく。
	方向性	施設機能の統廃合を進めるとともに、長寿命化する施設については、施設を長く、安全・安心に使用するため、適切な保全に努めていく。

事務事業	726461	市庁舎設備等改修事業		
事業区分	実施計画事業	施策体系	726410 公共施設等の計画的な管理と統合・廃止	
区分	必要性	非常に高い	効率性	普通
	方向性（第一次）	改善・効率化	改善、効率化の内容	改良戦略
対象	市庁舎			

事務事業目的	築後34年が経過した市庁舎の建築設備等の計画的な改修工事を実施することで、適正で快適な環境を整えます。
事務事業内容	経年の劣化による市庁舎の建築設備等を計画的に改修し、適正な庁舎の維持管理を行います。
実施形態	一部委託
成果指標	市庁舎の排出する温室効果ガス排出量 令和元年度実績： 749.4 t / Co
活動指標	(活動指標1) 光熱水費 令和元年度実績： 41,702千円

事業コスト計算

事務事業費予算額	85,935,000 円	R1 事務分担表による「事務に係る人数」	0.25 人
事務事業費決算額	83,160,000 円	R2 事務分担表による「事務に係る人数」	0.31 人
予定値		確定値	
直接事業費	85,935,000 円	直接事業費	83,160,000 円
人件費	2,060,601 円	人件費	2,506,785 円
総額	87,995,601 円	総額	85,666,785 円

見直し実績	庁舎エレベーター2号基及び3号基を省エネルギータイプの機体に改修した。 庁舎5階電算機室の個別空調設備の改修を行った。	
事業評価	内部要因 外部要因	(ニーズ) サービスや機能を維持しながら、財政的に持続可能な施設運営を検討する必要性が高まっている。 (弱み) 施設の統合、再編等を行った場合であっても必要な改修等を行うための財源確保が難しい。
	必要性	市庁舎の計画的な改修工事を適宜進め、快適な職場環境を維持していくとともに、コスト面、環境面からも省エネルギー性能を有する設備への更新が必要である。
	効率性	省エネ対策に係る適正な設備を計画的に改修することにより、ランニングコストの削減や庁舎内の快適な環境の改善が図られる。
	方向性	市庁舎の適正な維持管理を行い、ランニングコストや省エネを考慮した施設運営に取り組んでいく